

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果と指導の改善策

今春、全国の6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、その概要をお知らせします。本分析結果をもとに、今後の指導改善に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

### 1 調査結果概況

国語A：主として知識

	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	8.2 / 12	68	9.0	2.7
全国	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7

国語B：主として活用

	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	4.1 / 8	51	5.0	2.1
全国	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9

算数A：主として知識

	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	8.5 / 14	60	9.0	3.3
全国	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2

算数B：主として活用

	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	4.8 / 10	48	5.0	2.6
全国	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7

理科（A・Bの区分なし）

	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	9.3 / 16	58	9.0	3.5
全国	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2

平均正答数に着目すると、各教科ともに全国との差は0.3~0.4の範囲でした。中央値、標準偏差等を鑑みても、本校の結果は概ね全国平均並と言えそうです。

### 2 全国正答率との比較において顕著だった問題およびその結果を踏まえた指導の改善策

<国語科>

【A：主として知識】

全国平均を上回った問題

- ・図書館への行き方の説明として適切なものを選択する。

全国平均を下回った問題

- ・【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する。

【B：主として活用】

全国平均を上回った問題

- ・【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する。
- ・「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分の空欄に書いた理由として適切なものを選択する。

全国平均を下回った問題

- ・これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ空欄に書く。
- ・【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する。

本校では昨年度の結果を踏まえ、学年の段階に応じて各教科等や実生活の様々な場面で司会やスピーチ、発表経験を積むことができるよう、その機会を意図的に設けてきました。今回の結果では、これらの取組成果が現れつつあると考え、引き続き進めてまいります。

一方で、自分の立場・意見と他者の意図や根拠を比較しながらとらえる力に、まだ課題があることが明らかとなりました。

<改善策>

- 様々な立場の意見をとらえることができるようになるために、たとえば、賛成側と反対側に分かれ、それぞれの意見の共通点や相違点を整理するような場面を学習活動に取り入れる。
- 資料や数値を根拠にして考えたことを話し合う活動を、各教科等で意図的に取り入れる。

## <算数科>

### 【A：主として知識】

#### 全国平均を上回った問題

- ・針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く。
- ・角(い)の角の大きさが、何度であるかを選ぶ。

#### 全国平均を下回った問題

- ・㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ。
- ・200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ。

### 【B：主として活用】

#### 全国平均を上回った問題

- ・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ。
- ・4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ。

#### 全国平均を下回った問題

- ・「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す。
- ・横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く。

本校の結果が概ね全国平均並であることは冒頭で触れたとおりですが、ことにB問題（活用）は、平均正答数である5問前後に過半数が集中しています。一方、A問題（知識）では、正答数にばらつきが見られます。

本校では、少人数制による算数科学習を実施しておりますが、子ども一人ひとりが自信をもって課題に取り組むことができるよう、引き続き、基礎的・基本的な事項の定着に努めます。併せて、身に付けた知識を活用することができるよう、見通しをもち、筋道を立てて考える場面や、考え方・解決方法を説明する場面も大切にしていきます。

### <改善策>

- 基礎的・基本的な計算の技能の確実な定着を図るために、スキルタイムなどの時間を活用し、当該学年以前の学習内容にも繰り返し取り組む機会をもつようにする。
- 問題を解決した後、数値や形などの条件を変えて発展的に考察する活動を設けたり、数値や形などの条件の異同を確認し、見出した考えをどのように活用していくかを話し合う場を設けたりする。
- 日常生活の場面で、算数で学んだ知識を活用して問題を解決する場面を設定することにより、一層理解を深めることができるようにする。

## <理科>

### 【主として知識】

#### 全国平均を上回った問題

- ・ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ。

#### 全国平均を下回った問題

- ・腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。
- ・流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。

### 【主として活用】

#### 全国平均を上回った問題

- ・回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ。
- ・海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ。

#### 全国平均を下回った問題

- ・食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く。

今回、全国平均を上回った問題の多くは、観察や実験の結果を整理分析して考察するものであり、主に児童自身が体験を通して学んだ内容です。一方、「関節」「堆積」といった科学的な言葉の定着が求められる問題や、実験結果からのみ述べるができる事項を説明する問題の正答率は、全国平均を下回りました。

本校では、引き続き体験を通じた学習を保障していくことはもちろん、分析をより妥当なものとするための話し合い活動にも力をいれていきます。

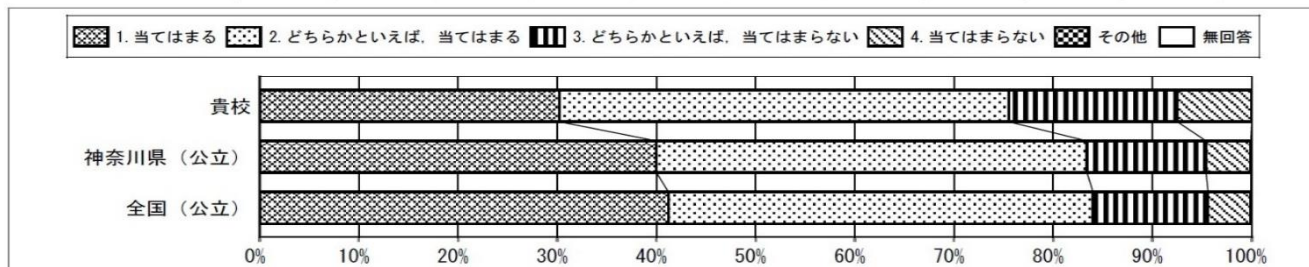
### <改善策>

- 実際の自然の事物や現象について、科学的な言葉を適用して説明する場面を繰り返し設定し、理解を深める。
- 観察や実験の結果をもとに、児童自身が「事実」と「解釈」の両方を示しながら説明したり、解釈した内容が問題と正対しているかを確認したりする場面を設定する。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査（質問紙調査）結果

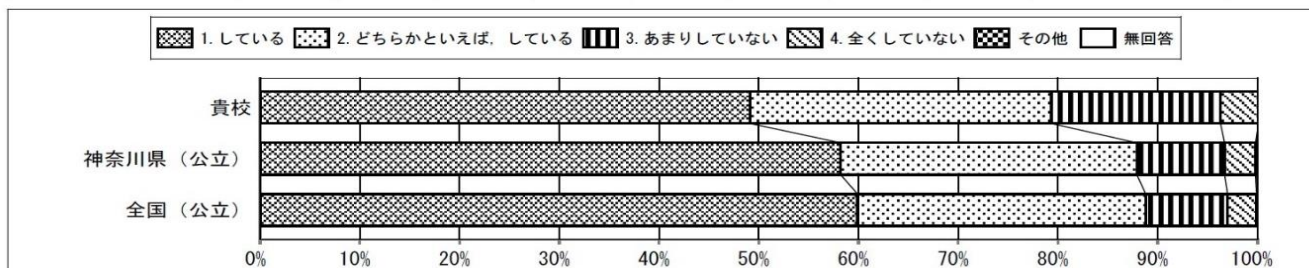
全国・神奈川県と比較して良い傾向にあるものや課題があると思われるものを取り上げています。

質問番号	質問事項										
(1)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	30.2	45.3	17.0	7.5						0.0	0.0
神奈川県（公立）	40.0	43.4	12.0	4.5						0.1	0.1
全国（公立）	41.2	42.8	11.6	4.3						0.1	0.0



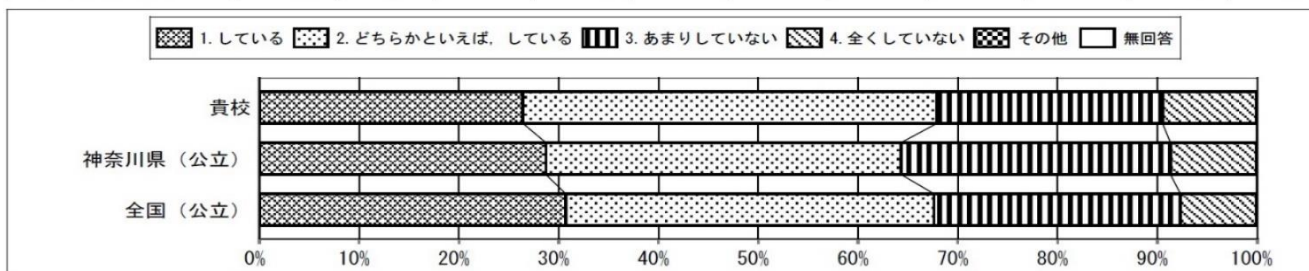
学校では、委員会活動や各種行事、朝練習などに日々一生懸命取り組んでいる子どもたちの様子が見られます。ぜひ、私達大人が子どもの頑張りを認め、褒めていくようにしたいです。

質問番号	質問事項										
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	49.1	30.2	17.0	3.8						0.0	0.0
神奈川県（公立）	58.2	29.7	8.8	3.1						0.1	0.1
全国（公立）	59.9	28.9	8.2	2.9						0.1	0.0



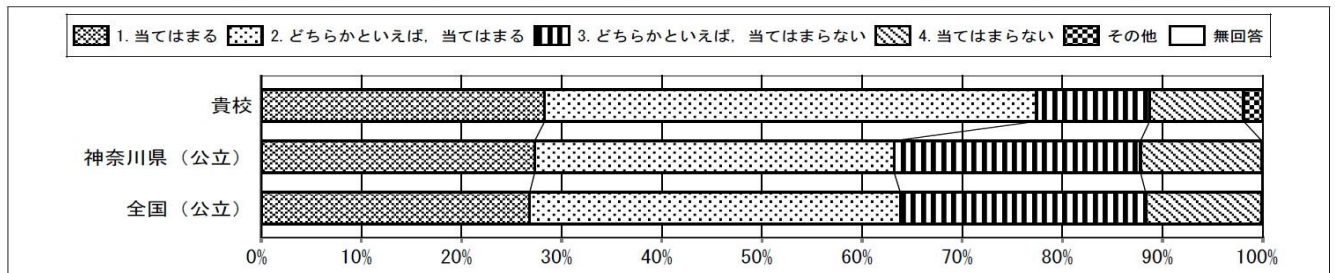
本校児童の2割強が「あまりしていない」「全くしていない」を選択しています。規則正しい生活は心身の健康保持・増進につながります。お子さんへの声掛け等、ご協力をお願いします。

質問番号	質問事項										
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	26.4	41.5	22.6	9.4						0.0	0.0
神奈川県（公立）	28.7	35.6	27.0	8.6						0.1	0.0
全国（公立）	30.7	36.9	24.7	7.6						0.1	0.0

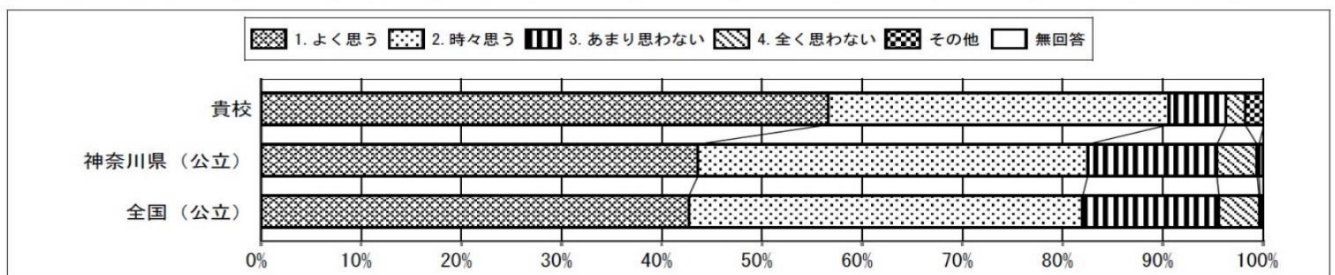


昨年度に比べて「している」「どちらかといえば、している」の数値が10ポイント以上アップしています。昨春より実施の「自主学習」の成果が現れているようです。

質問番号	質問事項										
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	28.3	49.1	11.3	9.4						1.9	0.0
神奈川県（公立）	27.3	35.9	24.6	12.1						0.1	0.1
全国（公立）	26.8	37.0	24.5	11.6						0.1	0.0



質問番号	質問事項										
(54)	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いませんか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	56.6	34.0	5.7	1.9						1.9	0.0
神奈川県（公立）	43.6	38.9	12.9	4.0						0.2	0.4
全国（公立）	42.7	39.3	13.6	4.0						0.1	0.3



質問番号(21)(54)のいずれも、「当てはまる(よく思う)」「どちらかといえば、当てはまる(時々思う)」の合計が高くなっています。これは、地域行事や一本まつり等、「まち」と子どもの関係性が深いという一本松小学校の特徴に加えて、総合的な学習の時間を中心に、身近な問題解決を重ねてきたこととも相関がありそうです。

これからも自分の住んでいる地域に愛着をもつことのできる子ども、様々な事柄に興味を示し、進んで「ひと」「もの」「こと」と関わろうとする子どもを育成するために、子どもを取り巻く大人が手を取り合い、応援していきたいと思えます。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。